



第31回富江桜まつり

第31回富江桜まつりが3月27日から4月7日にかけて、富江さんさんキャンプ村で開催されました。



3月定例会の あらまし

3月定例会は、3月2日から3月24日までの23日間の日程で開催されました。

3月7日から9日には、9名の議員が一般質問を行い、3月10日から22日までは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、市長提出議案の平成27年度補正予算、平成28年度当初予算、条例等48件を可決、人事案件1件を同意。さらに、請願1件、議会議案2件、陳情2件についても、それぞれ審議決定されました。

P 2

P 3～P 4

P 5～P 9

P 9～P 10

P 10

P 11

P 11～P 12

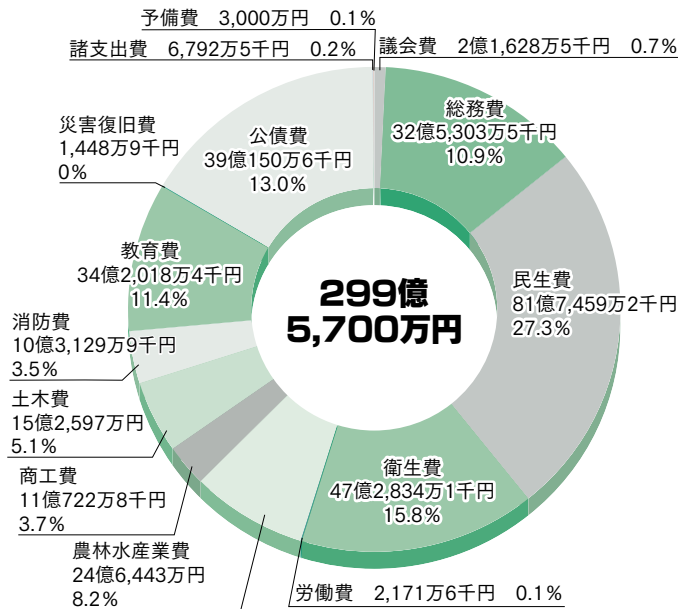
P 12

目次

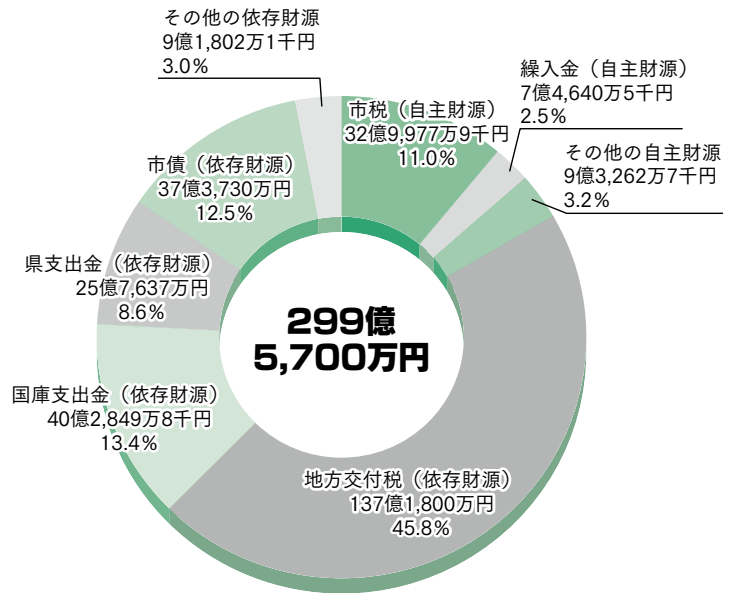
- 当初予算の内訳
- 当初予算の概要
- 一般質問
- 委員会審査
- 議決結果
- 賛否一覧表
- 行政調査
- 編集後記

平成28年度 当初予算を可決

一般会計 歳出



一般会計 歳入



平成28年度当初予算総括表

(単位：千円、%)

会 計 名	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率	
一 般 会 計	29,957,000	28,498,000	1,459,000	5.1	
特 別 会 計	国民健康保険事業	7,805,576	7,749,209	56,367	0.7
	事業勘定	7,294,260	7,254,971	39,289	0.5
	直営診療施設勘定	511,316	494,238	17,078	3.5
	介護保険事業	5,783,666	5,777,515	6,151	0.1
	事業勘定	5,736,366	5,730,320	6,046	0.1
	介護サービス事業勘定	47,300	47,195	105	0.2
	後期高齢者医療	497,395	503,631	△ 6,236	△ 1.2
	診療所事業	69,780	77,434	△ 7,654	△ 9.9
	簡易水道事業	796,500	672,549	123,951	18.4
	大浜財産区	7,116	6,415	701	10.9
	本山財産区	2,106	3,066	△ 960	△ 31.3
	下水道事業	5,900	5,512	388	7.0
	公設小売市場事業	4,711	5,387	△ 676	△ 12.5
	港湾整備事業	25,879	25,955	△ 76	△ 0.3
	交通船事業	43,832	43,413	419	1.0
土地取得事業	81,992	96,589	△ 14,597	△ 15.1	
小 計	15,124,453	14,966,675	157,778	1.1	
合 計	45,081,453	43,464,675	1,616,778	3.7	

当初予算の概要

良質な雇用の創出

企業誘致と雇用創出・拡大の推進について

○人口減少対策として、企業に対する奨励措置の要件緩和や補助金額の増額を行い、市内企業の規模拡大や市外企業の進出への支援策を強化することで、企業誘致とともに既存の市内中小企業の雇用の創出・拡大を図る。

○必要となる予算については、制度改正後に改めて計上する。

再生可能エネルギー推進事業

7千910万4千円

○平成26年7月に国から選定を受けた、海洋再生可能エネルギー実証フィールドの管理・運営体制の構築と利用者確保のための誘致活動を行う。

○平成27年に環境省の採択を受けて実施している「風力発電等に係る地域主導型の戦略的適地抽出手

整備及び繁殖雌牛の導入に対する助成を行う。

交流人口の拡大

Uターン促進事業

2千36万3千円

○五島市の魅力を広くアピールするとともに、移住を希望する方への情報発信や短期滞在住宅の提供により、定住人口の増加を図る。

○28年度は短期滞在住宅として支所地区の教職員住宅等を活用するとともに、子育て世帯の移住を促進するため、引っ越し費用に対する助成を行う。

体験型観光の推進

4千446万7千円

○五島の多彩な地域資源を活かした体験型観光を推進し、交流人口を拡大するとともに、地域の活性化を図る。

○体験型観光の受け皿組織の活動支援と、受入環境の整備に対する助成を行う。

○「五島感動しま旅総合プロモーション事業」により総合体験型旅

行商品の企画・造成・販売を行うとともに、島外からの修学旅行(教育旅行)に対する助成を行う。

スポーツ交流人口拡大事業

3千860万8千円

○島外の実業団や大学・高校等のスポーツ合宿を誘致し、トップアスリート等の高い技術力を直接見る機会を設けることで、競技力の向上やスポーツによる交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。

○五島長崎国際トライアスロン大会、五島列島夕やけマラソン大会及び五島つばきマラソン大会を開催することで交流人口を拡大し、知名度のアップと地域の活性化を図る。



崎山沖 2MW浮体式洋上風力発電所

畜産クラスター構築事業

2億4千522万3千円

○畜産農家をはじめ、地域の関係者が有機的に連携・結集した高収益型畜産体制(畜産クラスター)を構築し、生産コストの低減・高付加価値化により地域の畜産の収益性を向上し、生産基盤の強化を図る。

○畜産農家6戸の牛舎、堆肥舎の



ソフトボール教室

まちづくり

【新規】山本二三美術館(仮称)整備事業
450万9千円

○本市出身のアニメ美術監督であり、作者でもある山本二三氏の作品を常設展示し、観覧できる美術館について、市指定文化財の武家屋敷松園邸を活用し整備する。

○28年度事業の内容・美術館整備のための協議、基本設計業務

○開館時期・29年度中の開館を予定



山本二三美術館(仮称)
の武家屋敷松園邸

五島市地域公共交通再編事業
723万9千円

○現在策定作業を進めている地域

公共交通網形成計画の具体的な取り組みとなる再編実施計画を28年度において策定する。

○再編実施計画においては、バス路線の再編・統合等による路線の効率化や市営交通船(前島航路、黒島航路)の海上タクシーによるデマンド運航の導入等を盛り込み、地域の特性に応じた取り組みを進める。

福江清掃センター更新事業
3億1千924万6千円

○平成15年に供用開始された福江清掃センターは、施設の老朽化が進み、維持管理経費も増加傾向にあることから、25年度に策定した「五島市ごみ処理基本計画」に基づき、ごみ処理施設の一元化を図るため、平成30年度までに施設の更新を行う。

○建設予定地・五島市浜町 旧福江清掃センター跡地

○28年度事業の内容・旧福江清掃センター施設の解体、施設整備計画の支援業務

子育て

【新規】児童福祉施設整備事業
1億6千922万2千円

○子供たちに安全な保育環境を提供することで、安心して子育てができるよう、私立保育園及び認定こども園の施設整備に対して補助を行う。

○《若草保育園》園舎の改築事業(木造平屋建)

○《第二双葉幼稚園》園舎の増築(厨房、子育て支援室)事業(鉄筋コンクリート平屋建)



若草保育園

「プロジェクトG」小学校からの英語習得事業
1千225万3千円

○国に先駆けて、小学校1年生からの英語教育を推進する。

○小学校の英語教育の充実と中学校における指導体制を強化するため、28年度において市単独のALT1名を新たに雇用し、プロジェクトGの一層の推進を図る。

○教育課程特例校

平成27年度7校から平成28年度16校(平成29年度から全校実施を予定)

岐宿地区統合小学校新校舎建設事業
9億8千425万7千円

○岐宿地区の岐宿、川原、山内の3つの小学校を統合した新小学校の校舎の建設。

○管理・特別教室棟：混合構造(1階RC造、2階木造建) 延面積1千890・67平方メートル

○普通教室棟：木造平屋建 延面積 895平方メートル

○平成29年1月末に校舎が完成し、4月から新小学校として開校する。

一般質問 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)

問 旧ごみ焼却施設の解体費用は

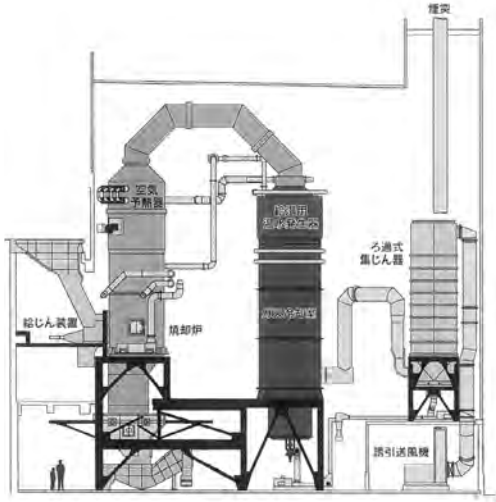
答 約3億4千万円を見込んでいます



相良 尚彦 議員

質問 ①ごみ焼却施設建設計画の進捗状況は。②ごみ焼却施設建設に伴う費用と旧施設の解体費用は。③ストロカ方式の採用理由は。④建設予定地の住民への説明状況は。

答弁 ①平成27年度事業として焼却施設整備基本計画・旧焼却施設解体調査設計業務委託と生活環境影響調査業務委託を実施中である。②ごみ焼却施設建設に伴う費用は、今後、プラントメーカーの見積り等を参考に設計額を決定することとしている。また、旧施設の解体費用は約3億4千万円を見込んでいる。③国内の焼却施設の



ストロカ方式の焼却場
(クリーンパーク長与のパンフレットより)

9割以上で採用され、焼却方式としての実績も多く、安全・安心であること、また、現在の福江清掃センターの焼却方式であるガス化溶融炉は、年間4億5千万円から5億円の維持管理費用が必要であるが、クリーンパーク長与が採用するストロカ方式は、年間の維持管理費用が約2億1千万円であり、費用が大幅に節減できる見込みであることから、ストロカ方式を採用した。④地域住民に会い、旧ごみ焼却施設で行政不信を与えたことについてお詫びを申し上げた。また、地域住民13名の方に先進地であるクリーンパーク長与へ視察に行っていたいただき、施設についての理解を求めている。

問 長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産登録に向けての考えは

答 2018年の登録実現に向け、全力を尽くしたい



木口 利光 議員

質問 多くの五島市民が7月の世界遺産登録を心待ちにしている中、「長崎の教会群」の推薦が取り下げられた。2018年の登録に向けての考えは。

答弁 推薦取り下げについては、大変残念であり、誠に申し訳なく思っている。登録は少し延びるが、禁教期に信仰を守ってこられた先人の苦勞を思えば、必ず乗り越えられると考える。

2018年の「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」登録実現に向け、信徒や地域住民に理解をいただき、引き続き国・県、関係市町及び県選出の国会議員や関係団体等の協力を得ながら、登録実現のため全力を尽くしたい。

総合戦略の取り組みにおける雇用創出策は

質問 五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の取り組みにおける雇用創出策は。

答弁 良質な雇用の創出は人口減少対策の大きなポイントであり、総合戦略でも工場等設置奨励条例の見直しによる進出企業への優遇措置の充実、遊休資産を活用したサテライトオフィス誘致の受け皿環境の充実、起業・創業の支援、再生可能エネルギー分野やマグロ養殖分野による地元企業事業拡大支援、高卒者の地元就職や若い世代のUターンによる若者雇用を創出していくことにしている。

また、基幹産業である農林水産業においても、担い手育成等の後継者対策を行い、五島の恵みを生かした雇用対策を進めていきたい。



五島市まち・ひと・しごと創生
人口ビジョン・総合戦略

問 次期市長選挙への出馬は



谷川 等 議員

答 出馬を決心した

質問 市長のスローガンである市民の力、国・県の力、政治の力を結集し、五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略等の重要課題に生かすべきだと思いが、次期市長選挙への出馬の考えは。

答弁 市長に就任し、「結集・みんなの力で五島を豊かに」をスローガンに、3つの政策目標を掲げ、全力でふるさと五島の活性化に取り組んできた。まだまだ道半ばであるため、引き続き市民の皆様にご信任いただき、市政を預かっていただきたく、次期市長選挙に出馬することを決心した。

**廃校となった学校施設の
利活用は**

質問 学校の統廃合により廃校と

なった学校施設の利活用は。

答弁 廃校となった学校施設の利活用については、市全体で取り組み、総合的な検討が必要であると考えます。なお、岐宿地区の3小学校の統合後の跡地利用については、地域住民の意見を集約しながら検討していきたい。

買い物弱者の救済策は

質問 買い物弱者救済策として移動スーパー事業者への支援を行う考えは。

答弁 車社会の進行、人口減少により小規模店舗が地域から姿を消す中で、移動スーパーは高齢者の生活を守るためにも必要な事業である。移動スーパー事業者への支援については、利用者や事業者への聞き取りを行い、他の自治体の事例等を参考にしながら支援策を検討していきたい。



市内を回る移動スーパー

問 騙されて書いた署名ではない



草野 久幸 議員

答 胸が痛む

質問 大浜地区ごみ焼却施設建設計画の白紙撤回を求める請願に添えられた9千577名の署名について市長の見解は。

答弁 事実と異なる内容のビラで



大浜地区住民による反対運動

市民に説明をして署名を集めている。これを信じて署名を集めた人、署名をした人のことを思うと胸が痛む。市はこれまで、何故大浜を選んだのか、新しい施設はどうかにかについて、市民に対し発信をしていなかったが、多くの市民に事実と異なる説明がなされていることから、今後、広報紙等で市の考えをお知らせしていきたい。

質問 9千577名の方が騙されて署名したとは失礼ではないか。署名した方々は騙されて書いたのではなく、大浜の方々の白紙撤回を求める請願に賛同して署名をしているのでは。

答弁 署名をした方を批判しているのではなく、事実と異なるビラで署名を集めさせた方を批判している。



問 陸上自衛隊の誘致を
行う考えは

答 市民に理解と協力をいた
だき、誘致活動に努める



林 睦浩 議員

質問 定住人口の促進と雇用創出
が急がれる中、陸上自衛隊を誘致
することは、国境の防衛や抑止力
に繋がり、新たな産業振興の足掛
かりにもなると考えるが、市長の
見解は。

答弁 五島市まち・ひと・しごと
創生人口ビジョン・総合戦略にお
いて、自衛隊など国の機関の誘致
を重点事業として位置づけている。
国は3千人規模の離島防衛専門部
隊である水陸機動団の新設を計画
しており、佐世保市にこの水陸機
動団の司令部と第1連隊が設置さ
れる予定であるが、第2、第3連
隊については、まだ決定されてい
ないため、市議会とも連携を図り、
市民に理解と協力をいただき、自
衛隊の誘致活動に努めていきたい。

問 漁師食堂の概要は

質問 五島の近海でとれた新鮮な
魚介類を活用し、漁師飯等を提供
する漁師食堂の概要は。

答弁 事業主体は五島ふくえ漁協
で、協力団体として市観光協会、
運営を漁協の婦人部及び福江地区
の漁業集落の方が行う予定である。
当面は観光団体客を対象に、朝食
専門の食堂として、28年度上半期
のオープンを目指しているとのこ
とである。魚食普及や未利用魚の
活用とともに、観光の魅力向上に
も繋がることから、市としても支
援していきたい。



五島の近海でとれた新鮮な魚介類を
活用する漁師食堂

問 ふるさと納税制度を活
用した本市の人口減少
対策は

答 地場産業の育成に努め、
雇用の創出を図りたい



網本 定信 議員

質問 ふるさと納税制度をさらに
活用し、五島市の人口減少対策に
繋げては。

答弁 ふるさと納税については、
インターネットを通じたクレジッ
トカード決済の導入や返礼品の区
分、品目の見直し等を行い、2月
末時点での納税額は約1億2千500
万円で昨年度の約3倍となっている。
。

また、返礼特産品については、
一般社団法人五島物産振興協会や
九州商船株式会社と連
携し、円滑な供給シス
テムを構築している。
ふるさと納税制度によ
り地場産業を育成する
ことで、雇用へと繋が
り、地域の活性化や人
口減少対策に一役買う
ものと考えている。

問 本市の企業誘致の状況は

質問 本市の企業誘致の現状と今
後の取り組みは。

答弁 商工分野においては、平成
19年度から平成22年度にかけて製
造業、情報サービス業など4社を
誘致し、平成28年2月現在は、既
に撤退した1社を除き、従業者数
は131名となっている。水産分野に
おいては、平成8年度から平成22
年度までにマグロ養殖関連業者4
社を誘致しており、平成28年2月
現在の従業者数は73名である。ま
た農業分野における市外からの参
入については、平成27年度までに
3社が参入し、平成28年2月現在
の従業者数は98名となっている。
今後の取り組みについては、人
口減少対策としての雇用創出を強
力に進めるため、平成31年度まで
に新たに2

社の企業誘
致を目指し
ていきたい。



荒川マグロ養殖場

問 保育所や放課後児童クラブ等の受入体制の充実を

答 子育てサービスの充実を図っていききたい



江川美津子議員

質問 昨年4月から多子世帯の保育料軽減など子育て支援策が拡充されたが、保育所や放課後児童クラブ等の受入体制を充実すべきでは。

答弁 多子世帯の保育料軽減により、保育所の利用希望者が増え、見込み数と確保方策について見直しを行った。今後も利用希望者増が予測されるため、新たな施設の認可や定員を増やす等の対応を図っていく。放課後児童クラブについては、空き情報やイベント情報の発信等、子育てサービスの充実を図っていききたい。

ごみ焼却施設建設計画に対する請願への対応は

質問 ごみ焼却施設建設計画を一旦白紙撤回し、再検討を求める請願が、9千577名の署名を添えて提出されているが、市長はどのように受け止め、対応するのか。

答弁 請願への対応については、議会において判断されるものと思われるが、市としては、引き続き地域の理解を求めなるべく最大限の努力を重ねていきたい。

ごみの分別・減量化への取り組みは

質問 現在の焼却量と新施設の焼却処理能力を比較した場合、大幅なごみの減量化が必要であるが、ごみの分別・減量化への今後の取り組みは。

答弁 主に事業所から発生するオフィスペーパーなどの雑紙の分別を導入し、各家庭にも新手指書の配付や説明会等で資源化を啓発をしていく。また、剪定枝破砕機の貸し出しも行い、排出者自らがリサイクルに取り組める体制の整備を図っていききたい。



市役所内で行われているオフィスペーパーのリサイクルの様子

問 奈留島く前島間の航路運行の進捗状況は

答 デマンド運行体制を確立したい



野茂勇司議員

質問 奈留島く前島間の航路運行について、これまでの経過はどのようになっているのか。

答弁 前島地区において、昨年6月と11月に意見交換会を行い、今年1月に聞き取りによるアンケート調査を実施し、その結果も踏まえてデマンド運行計画案を策定中である。今後は住民説明会を開催し、運行計画案への意見をいただき、海上タクシーによるデマンド運行の実施体制を確立していきたい。



現在運行している定期船

音声告知システム廃止後の対応は

質問 3月末で音声告知システムは廃止されるが、今後の市民への情報伝達の方策は。

答弁 ケーブルテレビのデータ放送や防災行政無線などを活用して、市民生活に欠くことのできない情報の提供に努めていく。また、高齢者の割合が高い本市においては、ごとうチャンネルのテレビ画面に直接テロップを流して、必要な情報を伝える準備を進めている。

久賀島でのしま留学の取り組みは

質問 4月から久賀島で始まるしま留学の取り組みは。

答弁 しま留学生受入事業については、留学生3名の保護者と里親2名の合意がなされ、4月の始業式、入学式の日には正式な委託契約を行い、受入開始となる。



問 市庁舎等の電気料金について、入札制度を導入できないか

答 導入を検討していきたい



神ノ浦伊佐男議員

質問 電力の小売り自由化は段階的に進められており、一般家庭用は4月から自由化となるが、市の財政負担を軽減する観点から市の庁舎及び関連施設の電気料金について、入札制度を導入できないか。

答弁 電気を大量に使う工場や庁舎などの施設については、既に電気購入先を選べるようになっており、市としても過去に他自治体の動向等を調査し、検討を行っている。

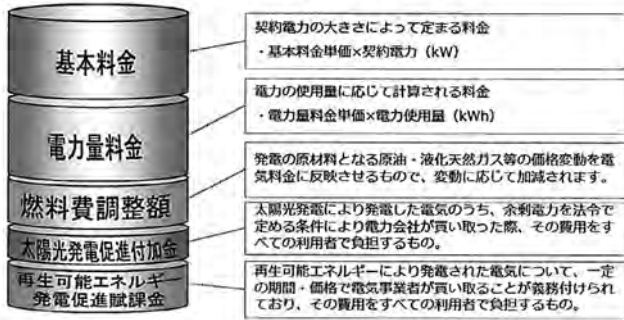
当時は、県内他市での導入実績もなく、入札を実施したその他の自治体においても、入札が不調に終わるなど、

電力の安定供給や価格面での優位性が確認できなかったことから実施には至っていない。

しかしながら、最近、電力小売りに参入する業種も増え、市内に代理店もできる等、状況も変わってきているので、市の財政負担を軽減する観点から、今後早急に入札等の電力調達手続きを整理し、市庁舎をはじめ関連施設への導入を検討していきたい。

電気料金の仕組み

* 電力料金は、基本料金、電力量料金、燃料費調整額、太陽光発電促進付加金、および再生可能エネルギー発電促進賦課金より構成されています。



電気料金の仕組み

委員会の審査

分科会

総務委員会

問 大波止ホテル跡地購入に係る予算が計上されているが、購入を予定している土地の面積は。

答 約1千500平方メートルの土地を購入予定で、土地購入費として4千95万円を予算計上している。

問 コンサルティング業務委託料641万2千円が計上されているが、その概要は。

答 観光・物産・UIターン・企業誘致の4分野において、統一的・持続的な情報提供を行い、島の魅力を効果的に発信するための広報戦略を策定することとしており、既存の各種調査結果等の要点整理、五島市の特徴や地域資源についての分析・考察、地域ブランドづくりに関する他市先進事例の収集・分析などについて、コンサルタンの協力を受けながら行う予定である。

厚生文教委員会

問 し尿処理については、五島西部衛生センターを中継施設とし、福江衛生センターで一元処理することになっているが直接搬入できないのか。

答 運搬経費を考慮した結果、富江については、福江衛生センターへ直接搬入し、玉之浦、三井楽、岐宿地区については、運搬車の手配や人材の確保など経費の増加が見込まれ、結果として汲み取り手数料の値上げも考えられるため、五島西部衛生センターで一時貯留することにした。今後の各地区の人口の推移や事業者とも協議する中で、検討したい。

問 旧福江清掃センター解体に係る事業費が計上されていることから、旧施設解体後の用地に廃棄物処理施設を建設した場合、その解体に係る経費については、国の交付金を活用できるとの説明であったが、地元の同意が得られていない状況の中で、旧施設の用地に新たなごみ焼却施設を建設するための予算を計上したのか。

答 旧施設の解体については、事業費を約3億4千万円と見込んで

経済土木委員会

おり、市の単独事業として実施した場合、特別交付税で約1億円が措置されるものの、市の負担は約2億4千万円の見込みとなる。これに対し、旧施設解体後の跡地に、廃棄物処理施設を建設した場合、国の循環型社会形成推進交付金と合併特例債を活用できるため、旧施設の解体に係る市の負担は地方債の償還分も含め約8千万円の見込みとなることから、市の負担額は約1億6千万円が削減されることになる。

以上のことから、旧福江清掃センターの跡地に廃棄物処理施設を建設することとし、国の交付金などを活用して旧施設の解体を行うための予算を計上している。



福江衛生センター

問 宿泊施設改修費補助金1千万円が予算計上されてが、その概要は。

答 既存の宿泊施設の改修を対象予定としているが、今回は、特に、

後継者の受け入れを希望する施設の改修を優先したいと考えている。補助額等については、後継者の受け入れを希望する宿泊施設の改修については、県補助金も活用できることから、改修費用の3分の2、上限200万円の補助を、それ以外の宿泊施設については、改修費用の2分の1、上限100万円の補助を考えている。

なお、後継者の受け入れについては、希望する宿泊施設の募集、聞き取り等を実施してリストを作成するとともに、後継候補者についても、市のホームページ等に募集要領を掲載するなどし、島内外から広く募集を行っていく。

問 陸上競技場の全天候舗装への改修の計画は。

答 市内の競技団体やスポーツ合宿に來られる実業団からも強い要望を受けており、早い段階で検討していきたい。



全天候舗装の陸上競技場外周路

議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果	議案番号	事 件 名	議決結果
議案第1号	機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	議案第27号	平成27年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第2号	五島市庁舎等整備基金条例の制定について	原案可決	議案第28号	平成27年度五島市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第3号	五島市土地開発基金条例の一部改正について	原案可決	議案第29号	平成27年度五島市診療所事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第4号	五島市e-むらづくり地区計画の実施に伴う公有財産の使用料等の免除等に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第30号	平成27年度五島市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第5号	五島市行政不服審査会条例の制定について	原案可決	議案第31号	平成27年度五島市本山財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第6号	五島市情報公開条例等の一部改正について	原案可決	議案第32号	平成27年度五島市公設小売市場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第7号	五島市職員の給与に関する条例及び五島市一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第33号	平成27年度五島市土地取得事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第8号	五島市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第34号	平成28年度五島市一般会計予算	原案可決
議案第9号	五島市議会議員の議員報酬、費用弁償等支給条例の一部改正について	原案可決	議案第35号	平成28年度五島市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第10号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	議案第36号	平成28年度五島市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第11号	五島市証人等の実費弁償支給条例の一部改正について	原案可決	議案第37号	平成28年度五島市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第12号	五島市火災予防条例の一部改正について	原案可決	議案第38号	平成28年度五島市診療所事業特別会計予算	原案可決
議案第13号	五島市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について	原案可決	議案第39号	平成28年度五島市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第14号	五島市立保育事業所条例の一部改正について	原案可決	議案第40号	平成28年度五島市大浜財産区特別会計予算	原案可決
議案第15号	五島市黒瀬小規模保育所条例の廃止について	原案可決	議案第41号	平成28年度五島市本山財産区特別会計予算	原案可決
議案第16号	五島市保育所における保育に関する条例の廃止について	原案可決	議案第42号	平成28年度五島市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第17号	五島市工場等設置奨励条例の一部改正について	原案可決	議案第43号	平成28年度五島市公設小売市場事業特別会計予算	原案可決
議案第18号	五島市玉之浦観光住民センター条例の廃止について	原案可決	議案第44号	平成28年度五島市港湾整備事業特別会計予算	原案可決
議案第19号	五島市手数料条例の一部改正について	原案可決	議案第45号	平成28年度五島市交通船事業特別会計予算	原案可決
議案第20号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第46号	平成28年度五島市土地取得事業特別会計予算	原案可決
議案第21号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第47号	平成28年度五島市水道事業会計予算	原案可決
議案第22号	過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決	議案第48号	平成27年度五島市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第23号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決	議案第49号	五島市副市長の選任について	同 意
議案第24号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決	請願第6号	大浜地区ごみ焼却施設建設計画に関する請願	不 採 択
議案第25号	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	原案可決	議会議案第1号	五島市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	平成27年度五島市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	議会議案第2号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書	原案可決
			陳情第9号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	結 審
			陳情第10号	未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	結 審

賛否一覧表

○：賛成、×：反対、－：退席、－：欠席

会派・議員名 議案番号	創 政 会					芯 風 会				椿 会		政策研究会7		日本共産党		研政会		五島市安全 安心なまち づくりの会	公明会	政策会
	明石 博文	木口 利光	神之浦伊佐男	谷川 等	野茂勇司臣	清川 久義	野瀬 健一	林 陸浩	三浦 直人	草野 久幸	古川 雄一	網本 定信	菊谷 岩雄	江川美津子	橋本 憲治	宗 藤人	村岡 末男	中村 康弘	相良 尚彦	片峰 亨
議案第1号 ・第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号～ 第24号、 第26号～第33号	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×
議案第35号 ～第37号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第38号 ～第48号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	×	×	×	×	×	×	-	×	○	○	○	×	○	○	×	×	-	×	○	○
議会議案第1号 ・第2号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案第49号の人事案件については、無記名投票を行った結果、賛成19票で同意されました。

行政調査を実施

平成28年1月18日から20日に文教厚生委員会が行政調査を実施した。

文教厚生委員会

◎福岡県粕屋郡宇美町

五島市では、グローバル社会で活躍する島の子供たちの育成を目指し、小学校からの英語習得事業「プロジェクトG」として小学1年生からの英語教育を進めているところであるが、今回の視察では、英語教育の全国的先進校である福岡県粕屋郡宇美町立原田小学校を訪問した。

1. 原田小学校の英語教育への取り組み

- ① 小学校3年生から週1時間、外国語活動を実施。
- ② 文科省配布教材「Hi Friends」を活用し、授業の目当てや個人の目標を記入し、児童に数値で評価を行ってもらい「ふり返りシート」を作成。
- ③ 実践事例集の作成（原田小学校

のすべての外国語授業の内容を記述したもの。

- ④ かごや引き出しで單元ごとに使用する教材（カードなど）を管理。
- ⑤ 先生側の天井の梁に、言葉を書き出したものを張り、言い忘れ防止策の実施。
- ⑥ 授業の前にALTやJTEとの事前打ち合わせの実施。

2. 小中連携について

- ① 中学1年生の授業（英語、数学、国語など）を教員全員で参観。
- ② 前年度のうちに、中学校外国語科教員が小学校へ授業に向く。（小学校の授業に中学校教員がティーム・ティーチングで参加）。

3. まとめ

英語教育においては、ALTの存在やICTの活用、さらに遠隔授業は重要であり、五島市の英語教育においても教育効果は非常に高いと考える。その一方で、負担の大きさはあっても担任教師の重要性は決して揺るがないという印象を受けた。英語教育におけるマンパワーを感じた視察であった。

◎熊本県水俣市

水俣市は、1956年5月に公式確認された水俣病の経験と教訓が根底となり、水俣病のような公害を二度とおこさない、「環境」を大切にしたまちづくりを基本とする、環境モデル都市づくりに取り組んでいる。

そこで、今回の視察では、水俣市が「環境」を大切にしたまちづくりの取り組みにおいて進めるごみの分別減量化の取り組みについて調査を行いました。

1. ごみの分別と収集について
の取り組み

①21種類の高度分別と4Rの推進によってごみの減量化を進めている。
②資源ごみについては、月1回ごみステーションに持ち寄り、分別が分からない方については、リサイクル推進員が分別の指導などを行う。
③生ごみの堆肥化の推進。さらに、食用油については、使用済みは専用容器を配布し、未使用の物は容器に入れたまま回収するなど細やかになっている。

容器廃プラスチックについては、丁寧に洗浄されていること。また、菓子の個包装の袋などについても分別されている

2. ごみの高度分別の効果について

①ごみステーションが世代を超えたコミュニケーションや環境学習の場になっている。
②高度分別により最終埋立地の寿命が数十年延長。

3. 五島市との相違点について

①ごみ袋は成分の緩やかな指定はしているが、生ごみの袋も含め指定袋(有料化)制ではない。
②資源ごみの売却益をリサイクル還元金として地域へ還元。
③リサイクル推進員が各町内会に1人以上配置されている

4. まとめ

今回の視察においては、水俣市の担当者が環境問題に先進的に取り組んでいることに確信を持って説明する姿勢に感銘を受けた。どんな事業であっても行政・市民・企業の協働、市民の理解と協力なしには成功しないことを肝に銘じたい。

6月定例会は6月22日(水)開会予定です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。
<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>



☆表紙の題字「市議会だより」は、
富江中学校3年
山崎香奈
さんの作品です。



☆表紙の題字「ごとう」は、
崎山小学校3年
野瀬雄一郎
さんの作品です。

編集後記

3月定例会が開催され、これからの五島、未来の五島を考え4つの基本目標を掲げた平成28年度の当初予算が成立しました。

基本目標1 良質な雇用の創出では、五島の恵みを活かし、雇用を生み出す「しま」をつくる

基本目標2 交流人口の拡大では、五島の魅力を発信し、世界に誇れる「しま」をつくる

基本目標3 まちづくりでは、安全・安心で住みやすさ日本一の「しま」をつくる

基本目標4 子育てでは、五島の宝・子どもが育ち、輝く「しま」をつくる

となっており、それぞれの目標の具体的事業、取り組みが重要となります。



議会広報特別委員会

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 菊谷 岩雄 | 委員 | 明石 博文 |
| 副委員長 | 村岡 末男 | 委員 | 中村 康弘 |
| 委員 | 野瀬 健一 | 委員 | 野茂 勇司 |

(明石博文)

を消滅させないためにも本気で取り組んでいかなければなりません。現実的にも人口減少対策、雇用創出など大きな問題に立ち向かっていかなければいけません。これからも、市民の皆様が住みやすい生活環境を目指し、ワクワクするようなまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。